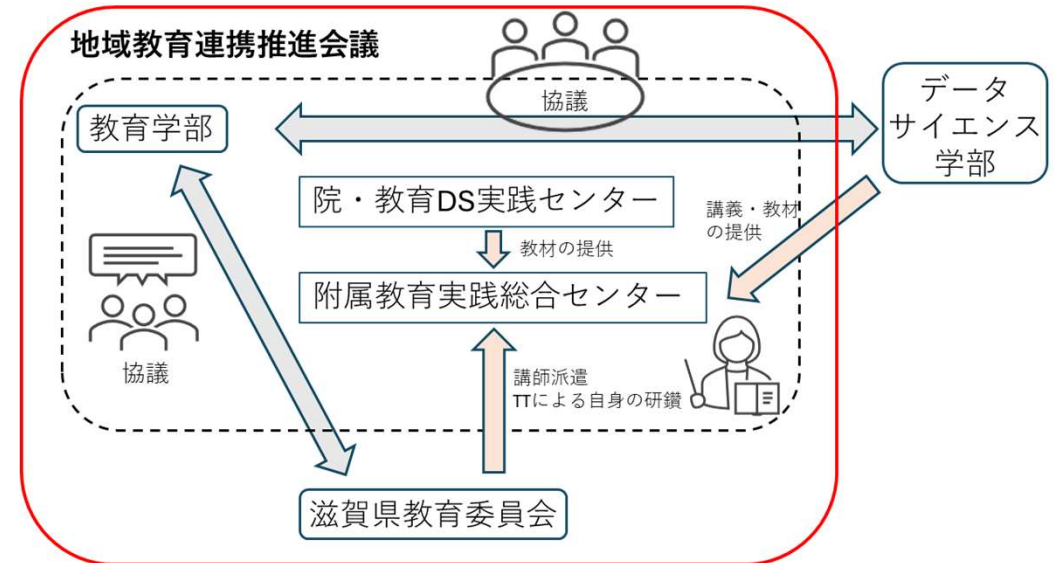
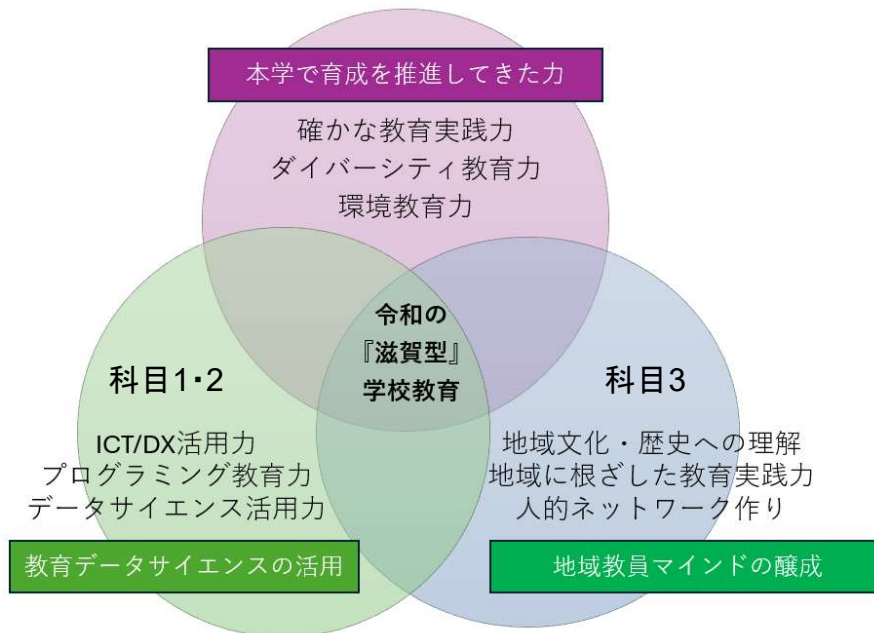


取組名: 教育データサイエンス/ICT/DX活用による地域教育の転換と地域教員マインドの醸成

事業概要: 教育のゲームチェンジャーとなりうる生成AIの登場で、Society 5.0を生きる子どもの備えるべき資質に変化が生じている。しかし、その基礎となるべきデータサイエンス/ICT/DXを教える教師が地域に不足している。また、少子化による子ども達の社会性の欠如や教師の孤立、地域愛を持った教師の確保への対応も急務である。これらの課題に対応するため、本事業では入学前からデータサイエンスの意義や地域文化を理解させ、入試では地域枠を設定する。入学後に、本学が育成を推進してきた力(確かな教育実践力、ダイバーシティ教育力、環境教育力)をベースに(第1の柱)、教育データサイエンス/ICT/DX活用力の強化(第2の柱)と地域教員マインドの醸成(第3の柱)を行い、地域が求める教師を養成する。この「令和の『滋賀型』学校教育」人材は、他の多くの地域でも求められていることから、成果を広く公開して我が国の公教育全体の底上げに貢献する。

「令和の『滋賀型』学校教育」を牽引できる人材育成 事業体制



図中の科目名

1. 教育データサイエンティスト養成プログラム(既設11科目)
2. 学校教育における教育データサイエンス活用(新設)
3. 滋賀大版「滋賀の教師塾I~IV」(新設)

本事業で育成する人物像

- ・ICT/DX活用力、プログラミング力を有する教員
- ・教育データサイエンス活用力を有する教員
- ・地域教員に相応しいマインドを有する教員